

令和5年度第1回飯豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和6年2月22日(木)

午後1時30分～午後3時

場所：飯豊町役場3階 委員会室

1 出席者

【委員】高橋会長、後藤委員、鈴木委員、齋藤委員、山家委員、佐原委員、木村委員、後藤委員、
中善寺委員(代理)、遠藤委員、安孫子委員、金田委員(代理)

【事務局】後藤住民課長、高橋住民課生活環境室長、遠藤生活環境室主事、飯澤社会福祉協議会事務局次長

2 公共交通会議議事

(冒頭)委嘱状交付

町長挨拶

[後藤町長]

諸般の事情により、第1回目がこのような時期になりましたことを改めてお詫びを申し上げたいと思います。

公共交通は、私は地域の共有財産、非常に大事なものであると思っております。実はこういう公共の財産というのは、ある学者の言葉を借りますと、国単独では守れない、それから企業でも守れない。地方自治体単独でも守れない。ではどこで守るのか。それは、ここに関わる多くの参加者が相集うことによってしか守れないのが、共有財産であり、その共有財産の最も象徴的なものが、地域公共交通であると、こういうふうにおっしゃっています。まさに我が意を得たりという思いがしますし、今日こうしてお集まりの皆さんも、何とか住民の足を確保したいと思いつつも、なかなかそれぞれの立場だけでは守れない。じゃあどうするのか、国なのか、県なのか、自治体なのか、そこで多くの知恵を出し合って、悩んでいるというのが現状でございます。本来でありましたならば、人口さえ、東京や仙台のような地方都市というようなところであれば、地下鉄なんかもあるというぐらいなものですから、守れるんでしょう。ですけれども、人口減少が進み、過疎が進んでいるという本町にあっては、なかなかやはりこれを守るっていうことは至難のわざ。しかし、過疎地であればあるほど、公共交通は非常に重要である。鉄道はもちろん、バス路線、自動車、それぞれの役割があるんだというふうに思います。

特に町では、現在、電動モビリティシステム専門職大学という大学を誘致いたしまして、現在学生募集に尽力しているというところがあります。これは環境をしっかりと捉えた新しい公共交通、あるいは、個別の自動車のあり方、エンジンなのか、電気電動なのか、その議論をしっかりと、これからの自動車産業なり交通システムを考えていこう。電動から、いわゆる AI を使った自動運転まで、環境に配慮した交通手段を考えていく。こういう話であり、この動きをしている非常に特殊な自治体でもございますので、皆様からこうした機会に、いろいろなご意見をさせていただき、とりわけ非常に高齢化が進んでいる高齢者の足の確保、また、今回の令和4年8月3日の災害の発生によって、まさかの米坂線という鉄路がズタズタにやられ寸断され、現在もまだなお治りきっていない、利用することができないという状況の中で、やはり輸送機関の重要さというものが改めて今取り上げられている最中での会議でございますので、ぜひそうしたもろもろの状況、皆様にはご賢察いただいて、的確なアドバイスをしていただきますようお願いを申し上げたいと思います。

ただいま、委嘱状を交付させていただきました。ご苦労をおかけしますが、ぜひこうした会議でしか運行サービスを継続しようがないと、ある識者が一般公共交通、共有財産について皆様から、ぜひ大事にご意見

をいただきしっかりと住民の足を守っていききたいと思っておりますので、ご指導賜りますことをお願い申し上げます。私からの挨拶をさせていただきたいと思います。本日はよろしく願いいたします。

[後藤課長]

町長、ありがとうございました。続きまして、飯豊町公共交通会議の設置について、事務局より説明させていただきます。

[高橋室長]

～4. 飯豊町地域公共交通会議の設置について説明～

[後藤課長]

続きまして、5番の会長および副会長の選出になります。会長および副会長の選出でございますが、飯豊町地域公共交通会議設置要綱、第5条にあります通り、会長および副会長につきましては、委員の互選によって定めるとあります。どのような方法で選任するのがよろしいか、皆さんにお諮りしたいと思います。

[会場]

事務局一任

[後藤課長]

事務局案の方でよろしいでしょうか？

[会場]

賛成。

[後藤課長]

それでは事務局案の方をこちらの方で報告させていただきたいと思えます。会長に、飯豊町デマンド交通ほほえみカー運行委員会の委員長であります高橋弘之様。副会長の方に、飯豊町デマンド交通ほほえみカー運行委員会の副委員長でおられます富永様の方をお願いしたいと思います。いかがでしょうか？

[会場]

意義なし。

[後藤課長]

ありがとうございます。それでは、会長に高橋弘之様、副会長は富永様をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

それではこれより協議の方に入らせていただきます。4番の協議でございますが、設置要綱第6条によりまして、会長が議長となることになっておりますので、取りまとめの方を、会長の方をお願いしたいと思います。高橋会長、よろしく願いいたします。

[高橋会長]

ただいま会長に選任されました。飯豊町デマンド交通ほほえみカー運行委員会委員長しております高橋と申します。よろしくお願ひしたいと思ひます。暫時の間、私の方で協議の方取りまとめをさせていただきたいと思ひます。

先ほど事務局から説明がありました通り、地域公共交通会議の趣旨という部分では、乗合運送関係のいわゆる見直しという部分についてが主な議題という形になってまいりますのでそちらの方をこれからご説明をさせていただきたいというふうに思ひます。これまで飯豊町デマンド交通ほほえみカー運行委員会の方では、時代の流れとともに、やはり乗られる方のお客様のニーズ、それから料金形態ですとかそういった諸々のことが変わってきているというようなことがあり、そういった話し合いをこれまで行ってまいりました。その結果につきまして本日皆様の方にご提示をさせていただき、ご審議をいただくというような形になりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。なおこちらの方の飯豊町デマンド交通ほほえみカー、平成 17 年の 10 月に山形県内では初めて乗り合い型タクシーデマンド交通ということでスタートした経過がございます。スタートから約 19 年経とうという形になってまいりました。先ほど申し上げた通り、時代の流れとともにお客様のニーズそれから乗られる方の世代、そういった部分が変わってきたというようなところがございまして、その辺も含めて皆様から忌憚のないご意見をいただきたいというふうに思ひますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは早速協議の方に移らせていただきたいと思います。まず初めに飯豊町デマンド交通ほほえみカー事業計画等の変更について事務局より説明をお願いいたします。

[高橋室長]

～協議(1)について一括説明～【資料 1～4】

[高橋会長]

足早に説明がなされてしまつてまだ理解できてない部分もあるかなというふうに思ひますので、一点一点整理をさせていただきながら、協議の方させていただきたいなというふうに思ひます。

まず一点目の区間名称の変更ということで、これまで住民の方々に示していた区間の名称の改正を行うという形です。これまでは、飯豊町町内から町外に行く、いわゆる中津川エリア、こちらの中津川エリアというのは、商業施設ですとか、個人病院ですとか、そういう部分が集中して固まってるエリアプラス長井市内にありますそのエリア以外の個人病院をいくつか特別情報ポイントと設置をして、そちらでの乗り降りができる、さらには川西町にあります公立置賜総合病院、こちらの方も特別情報ポイントとして乗り降りができるというエリアが、いわゆるまちなか線ということが言われてました。これをまちなか線という抽象的な名称ではなく、飯豊長井線と改正し住民の方々に示すという形です。今回新たに、置賜病院の周辺に開発されました。メディカルタウン、商業施設ですとか個人病院が固まっているエリアがあるんですが、そちらの中心的位置にありますなないろ薬局さん、こちらの方を特別条項ポイントとして新たに追加をして、住民の方の利便性を図っていくということの改正内容になっています。それから 2 番目の改正内容としては中津川線において、これまで中津川から長井市・置賜病院に行く場合は、飯豊町の役場周辺のところで乗り換えをしていただいていたわけですが、その乗り換えを便によってなくし、直接飯豊町中津川地区から長井市・置賜病院の方に行ける便に変えるというような形で、乗り換えをなくすというような改正になっております。更には飯豊町内を巡回するまちエリア線という名称を、やはりわかりづらいということで、名称をまち巡回線

に変わるというような変更内容になります。これがいわゆる区間名称の変更というところでありますので、まず一つ一つ協議に入っていきたいというふうに思いますので、この件に関しまして、皆様から質疑等ございましたらよろしくお願ひしたいというふうに思います。何かございませんでしょうか？

[高橋会長]

補足で付け加えさせていただきますが、川西町のメディカルタウンの中にあるなないろ薬局さん、新たな乗降ポイントという形になりますが、こちらの薬局さんの方には既に事務局の方でお伺いさせていただいて、そちらでデマンド交通ほほえみカーの乗り降りをするのを了承していただき、ほほえみカーが来るまでの間、薬局さんの待合室を利用していただいて結構ですというようなことで、夏場の暑いときですとか、あるいは雪が降っているときですとか、そういう場合には、雨風に当たらないような形で、デマンド交通を待つことができるというような形でご協力をいただくというようなことにさせていただいているところです。

ちょっとご意見いただきたいなと思うんですが、今回、中津川地区から直接長井エリアの方に行けるような便ができるということなんですが、伊藤ふみさんの方から何かご意見なんかいただけるとありがたいなと思ったんですが、いかがでしょうか？

[伊藤委員]

やっぱりほほえみカーを使う高齢者が多いです。朝一番のバスで行くと、やっぱり椿あたりでも待っていると冬は寒くて困るっていう話を聞いていたので、直通で行けるっていうのは本当にありがたいことだと思います。

[高橋会長]

ありがとうございます。他に皆様の方から何かございますでしょうか？

(意見なし)

[高橋会長]

よろしいですか。この件に関しましては質疑なしということで、次に移らせていただきたいと思います。

続いて2番目の改正点という部分で、運行時間の変更でございます。こちらの方、運行時間が表を見て資料の表を見ていただくとわかります通り、中津川線の朝一番の時間帯が少し遅くなって、8時15分という形になってます。また飯豊長井線の、これまでまちなか線ではなかった上りの11時便が新たに作られ、それから下りの方の12時便というのが時間に変更になるという形です。ただ、13時15分という便がなくなるというような形になります。この辺につきましては、お客様のいわゆるご希望をよく乗られる時間帯を実際に調査をさせていただくとともに、2024年から始まりますタクシーの運転手さんの、いわゆる就業時間の規制という部分の中においてしっかりど、休憩時間を確保するというようなことも含めて、時間変更という形にさせていただいているところがございますので、その辺も含めてご意見なんかをいただけるとありがたいなというふうに思います。

デマンド交通については、乗りたい便の30分前までに予約センターの方にお電話をしていただいて、予約をしていただくという形になりますが、今回の改正に伴って、朝一便の部分についての予約状況についてはどうなるのか、事務局から補足説明をお願いします。

[高橋室長]

朝一番の利用につきましては、前日の4時までで予約いただくということで、検討してございます。このあたりにつきましては、ほほえみカー利用の手引きというものを作成しまして、町民の皆様にお配りをし、その利用に齟齬がないようにということで検討しているところでございます。

[高橋会長]

今事務局から説明ありました通り朝一番に関しましては前日の4時までで予約をしていただくということで、対応していただくと。こちらの方についても、運転手さんへの、早めの予約状況の報告という部分も含めて、朝1の便については前日までというような形にさせていただくという形になってます。

[安孫子委員]

すいません一つありましてお聞きしてもよろしいでしょうか。ちょっと実際の利用状況もわからず質問するんですけど、今回この時間帯の変更で間隔が詰まる場所がある一方で間隔が開く時間帯が出てくると思うんです。一方でそれから今回は後でできる料金の値下げということもあって、もしかしたら、お客様の利用が増えるような時間帯も出てくると思うんですが車両はセダンのままというふうな感じになってまして、全員乗れるというふうなお考えかと思うんですけれども、今は1台にどのぐらい乗ってるからってというのはわかるのでしょうか？

[高橋会長]

今ご質問いただいた件につきまして、事務局の方から。

[高橋室長]

これまで新しい名称でいう飯豊長井線につきましては、飯豊町から長井を経由して公立置賜総合病院までのルートでございますが、朝の便ですと大体1日あたり3人から4人という実績になっております。また中津川線につきましても、大体朝の便ですと、1人から2人という数字が出ておりますので、現状のままで対応可能なかなというふうに思っているところでございます。また時間が変更されることによりまして、乗車数が増える可能性もあるかとは思いますが、現状の利用方法から考えますと、十分対応できるのかなというところで、現在の9人乗りのワゴンと、それからセダンの対応ということで考えているところでございます。

[安孫子委員]

セダンは何人乗れるんですか。

[高橋室長]

セダンは4人でございます。町内が主な運行エリアとなりますまち巡回線につきましては、現在のところ2から3というところで、忙しい時間で2人。買い物で利用されるお客様だったり、ちょっとした会合に参加される方の利用で考えますと、2から3ということでございますので、まだ大丈夫かなというところで判断しているところでございます。

[安孫子委員]

わかりました。ありがとうございます。

[佐原委員]

出発場所ってこれ、朝一番の便で8時になってるんですが、出発場所と巡回ルートというのがちょっとイメージできないのでちょっと教えて頂きたい。

[高橋会長]

その件に関しまして事務局の方から。

[高橋室長]

その出発については予約があった時点から…

[飯澤次長]

社会福祉協議会の飯澤です。オペレーター、あとめざまし交通さんに業務委託をして、我々でいろいろと調整をさせていただいておりますが、佐原委員の方からありました出発時刻のところでは本当に町民の方がわかりづらいところがありまして、私達は丁寧な説明を心がけています。

例えば、3 ページをお開きください、変更後のところの表を見ていただいて、8 時ということで、乗っかっているこの8時というのは、あくまでも最初に長井から見て遠い人が乗ることになりますから、その一番最初に乗る方が8時という考え方です。ですから、毎日この顔ぶれが変わりますので予約状況によって、一番多いのは高峰地区の方が大体8時で、長井の方に向かっていって、だんだんと時間がずれてきますので、高峰、添川、椿というふうな予約が3人入った場合は高峰の方が8時、添川の方が8時8分頃かな、椿の方が8時11分くらいの出発になるかなと、こんな形で私達はアナウンスしています。ですから出発地点というのは、その日状況によって違って、その便が萩生の方1人だったら萩生の方が8時に乗るという形になってくるわけです。そういうふうなことでご理解をいただきたいと。そして下りる順番になりますと、逆に一番遠い方が一番最後に降りるっていうふうなことでそこは定刻を設定しておりませんが、とりあえずそんな形でご理解をいただきたいなというふうに思います。以上です。

[佐原委員]

もう一つ質問させてもらって。萩生の方が8時でと言われて、高峰の方も8時だと言われたら、この最初の萩生の方が8時だと意識していると、例えば高峰からは大体20分ぐらいの時間がかかるところが出るわけです。その間はただ家で待ってるしかないってことなんでしょうか。そこで例えば、その方に対して、今日の朝は高峰から始まりますので、あなたのうちの場合、このぐらいの時間ですよってというようなアナウンスはしないで、ただ待っていてもらうのか。

[高橋会長]

アナウンスはしています。予約センターのオペレーターさんがその日の予約状況を見て、大体あなたの自宅の方には8時10分ぐらいに行きますよとか、15分ぐらいに行きますよっていう目安だけはお話はします。

自宅の方で待ってらっしゃるんですけど、このデマンド交通がつくと、運転手さんそれから今添乗ボランティアさんがいるので、自宅の玄関先まで行って、到着しましたよという呼びかけをして乗っていただく方もいれば、もう玄関先で待ってる方もいらっしゃるので大体、オペレーターから予約センターのオペレーターから大体何時ぐらいにっていうふうに言われた方は、もうその時間帯で外で待ってるというような形で、そのときそのときの予約状況によって時間帯が変わってくるという感じです。

[佐原委員]

個人泊まで迎えに来てもらえるということか。

[高橋会長]

そうです。他に皆さんの方から何かございますでしょうか？

[遠藤委員]

よろしくお願いします。すいません今アナウンスされるということだったんですけど、それっていうのは出発時間の前あたり、タクシー会社の方から連絡行くっていうふうなことはあるのですか。

[飯澤次長]

アナウンスにつきましては、社会福祉協議会の中に予約センターがありまして、そのオペレーターが、大体10分くらい8時10分くらいだとか、9時15分くらいだとか、そういうアナウンスを予約のときに行います。いろいろ環境、予約状況が混んできた場合はまた改めて、ちょっとあの昨日予約してもらったときに10分くらいかかるかなといったけどもちょっと天候模様もあるし、15分くらいかかるかもしれないなっていうアナウンスを再度するなんていうことも出てくるときがあります。そういったところはオペレーターさんとしても今日のように雪のときだと時間はかかるとか、そういった部分を配慮してできるだけ丁寧にアナウンスをさせていただくということで行っています。

[高橋会長]

同じ情報が運転手さんにも行くかという質問なのかなというふうに思うけどその辺についてはどうですか。

[飯澤次長]

運転手さんの方とは、そういうふうな連絡を入れたよっていうところを常時連絡やり取りして、共有しているので、多分ご理解っていうか問題はないのかなというふうに思っています。

[高橋会長]

その便の予約状況を見ながら、ルート設定は、オペレーターと運転手さんが話し合うと言うか、以前は自動設定でナビ上にそれがルートが出るっていうような形になってたんですが、今はそういう状態になっているのかな。

[飯澤次長]

今はそのシステムの部分でいうと、なかなかオート機能っていうのは使うのがなかなか難しいところがありましたので、あくまでも人為的な部分で、その方、利用者の状況等も踏まえて判断をして、ルート決めとか時間とかのアナウンスの仕方なんかを工夫してやっています。

[遠藤委員]

私、米沢でやってるんですけど、うちの勤務する会社で一番多いところ2ヶ所、受付やってるんですよ。さっきの1便は前日の4時までっていうことで、その2便以降から30分前ってことだったんですけど、9時から受付してるですよ米沢の場合は。それで7時半と次の2便までは前日までに連絡いただけるんですけど、次の3便以降っていうのはもう9時になるとバーって電話がくるんですよ。普通の業務をやりながらそちらの受付もしてるんで、タクシー会社でやってるんで、こちらではね、オペレーションセンターがあるっていうんでそれはいいなとは感じたんですけど。こっちで順番決めるんですよ、行き先。あとは何人かいらっしやると俺8時で予約したんだけど、まだこないよって電話がやっぱりなるんですよ。いや実は、もっと遠くの方から来られる方がいるんで遅くなりますよっていう連絡は電話もらえればするけど、こちらからは他の業務と一緒にやるんでできない、ってことなんで、その点はいいシステムだなというような感じなんですけどねはい。

[高橋会長]

最初、運行スタートするときは、多分その辺の問題があって、タクシー会社さんに予約センターを作ると、タクシー業務の他にそれを請け負うってなってくると、なかなか大変だというようなことがあり、飯豊町の場合はこれは福祉政策の一環だという部分で、社会福祉協議会様の方にその業務委託をさせていただいて予約センターを設置させていただき、なので専任のオペレーターがいるので、そことタクシー業者さんの方でうまく連絡のやり取りをしながら、ルート設定だとか、お客様への対応という部分をさせていただいてるので、そんなに混乱はないというようなところがあります。あと住民の方がやっぱり8時の便だったら、自分のうちに8時に来ると思ってる部分がある、そういう部分を払拭しなきゃいけないっていう部分で、運行開始前は、各地区の公民館のところに、高齢者の方々に集まっていただいて、デマンド交通の仕組みってこういう仕組みなんだよと。8時便だから、あなたのうちに8時に来るのではない、予約の順番に応じていくので、迎えにあがる時間はずれますよというような形で説明をさせていただいてご理解いただいたと。このような仕掛けで進めさせていただいたところです。

他に皆さんからいいですか。

(意見なし)

[高橋会長]

この件に関しましては、質疑なしということで、次に移らせていただきたいと思います。

続いて乗降場所の追加という部分では、先ほどもお話しさせていただきました置賜病院の付近、メディカルタウンのなないろ薬局さんの追加という形になりますのでこちらの方についてもご了解いただいたということで進めさせていただきたいというふうに思います。続いて、運賃の変更というところですかこちらの方につきまして、皆さんの方から何かご意見等ございますでしょうか？

[山家委員]

山形県ハイヤー協会の山家と申します。運賃どちらかというところを上げていく市町村さんの方がいるなという中で、飯豊町は下げるということで利用者促進に繋がると感じました。ただ一方でコストは変わらないというか、燃料費などの高騰も考えるとコストはそれなりにかかるわけで、例えばその差額、町の一般財源から当てるとかですね、そういったところの財源はどうなっているのか、お伺いします。

[高橋会長]

事務局をお願いします。

[高橋室長]

基本的にデマンド交通の収益につきましては、お客様からいただく利用料金とそれから社内に設けております広告収入、それと町からの助成金ということで成り立っております。でございますので昔から比べますと少しずつ利用されるお客様が減ってきているということで、その部分について不足するのではないかと考えてはいますがこちらにつきましては先ほど会長もおっしゃった通り、福祉施策の一環というところに舵を切りまして、必要な方の利用がしやすい環境を作っていくということで考えてございますので、直近の収益から計算しますと、約140万円ほどでございますが、下がるのかなというふうな見込みを持っているところでございます。こちらについては昨今の燃料費の上昇であったり、やっぱ人件費の上昇というところを見込んでいます。その分については町の方でやはり移動したいというニーズに対してどこまで応えられるかというところではございますが、責任を持ってやっていくということで考えているところでございます。

[山家委員]

ありがとうございます。これ、国の補助とかあるいは県の市町村総合交付金とかですね。そういうのの活用はお考えになっておられるんですか。

[高橋室長]

国のフィーダー系統補助金につきましては既に手を挙げさせていただいております。令和4年から頂戴してございます。といったこともありましてこのあたりは町の負担軽減にも役立っているものと思っております。

[山家委員]

ありがとうございます。利用する方だけじゃなくて、町長の冒頭の挨拶にも触れておられましたけど、町全体、町民全体で公共交通を支えていかれるんだなということを理解いたしました。

[高橋会長]

以前このデマンド交通を運行する前は、町営バスを運行していました。そのときは3路線、置賜病院に行く路線と長井の市内に行く路線と、あと山間部の中津川から役場付近まで来る路線という3路線で、町営バスの路線の運行前は山形交通様の路線バスが走ってたというような状況で、そういった変遷をやって経て今に至っているわけですが、町営バスの3路線を運行したときは、やはりほとんど乗車する方がいらっしやなく、空気を運んでいるバスだという形で町民の方からは、もう少し利便性の高い公共交通を実現してほしいという

中で、デマンド型乗り合いタクシーということがスタートしたという形です。

先ほども冒頭町長から話ありました通り、米坂線が今復旧状態というような中では、このデマンド交通が唯一の公共交通になってしまっているというようなこともあり、その利便性を高めて、飯豊町のいわゆる地理的環境ですとか、商店街がない個人病院がないという部分で、他町の力を得ないとそういう部分が、補完できないという部分があるものですから、先ほど申し上げた通り福祉政策の一環、高齢者になっても、それから運転免許を返納しても、この飯豊町の地で生活ができるという部分のシステムを作らなければならないという部分の中で、料金の見直しっていう部分で、極力、金銭的な負担を軽減するというようなことも含めて、改定に至ったというところがございますので、そういうような趣旨で、今回提案させていただいたというところでございます。

他に皆様の方から何かご質問等ございますか。婦人会の代表の後藤さんから何か。今までの提案というか改正案も含めて何かご意見いただけるとありがたいんですが、いかがでしょうか？

[後藤委員]

初めてのことばかりお聞きしてるので、今回、料金の引き下げもだいぶ半額ぐらいになってまして、これから将来私、私が利用するのに良くなってるとありがたいと思いました。

[高橋会長]

ありがとうございます。他に皆様の方から何かございますか。よろしいですか。利用料金の支払方法の変更については、こちらにある通りという形になりますので、ご了解をいただきたいというふうに思います。

それでは1番の協議事項は終了とさせていただき、2番のその他ということで、事務局からご説明をお願いいたします。

[高橋室長]

今日この会議を終えまして皆様にご承認いただいたということで、今度はこの後利用料金とそれからダイヤの変更についてということで国の方に申請をさせていただこうと思ってございます。その前に今度運行エリアについて川西町様の方で新しい乗降ポイントが増えますので川西町の運行協議会の中でも説明をさせていただいて、そこで協議が相整いました後というところで、具体的にこの運行ダイヤと料金となりますのは、令和6年の4月、なるべく早くとは思っておりますが、今後の協議の進行次第で変わってくるということ、またご報告させていただきたいと思っております。以上でございます。

[高橋会長]

その他はそれでいいですか。代行バスの件については。

[高橋室長]

はい、それでは失礼いたします。それでは今回の会議にあたりまして JR 東日本さんとそれからまた、山交バス株式会社様の方から資料を提供いただきましたので簡単に説明をさせていただきたいというふうに思います。

まずはA4横の資料ご覧をいただきたいと思っております。JR米坂線の代行バスの利用状況ということで、2023年4月から9月までの代行バスの帯ごとの利用状況ということでこのように抽出資料をいただきました。1日平

均でございますが、平日ですと約 135 人、これ上り便ということで、坂町・小国町の方から今泉の方に向かうところについては、平日で 135 人、休日で 67 人、平均で 113 人という数字だそうでございます。また下り坂町方面につきましては、こちら 1 日当たり 113 人ということで、平日ですと 136 人、休日で 64 人というような利用の状況でございます。やはり通勤通学で使われるのが多いのかなというところがこのグラフからも読み取れるのかなというふうに思っているところでございます。

また裏面をご覧いただきたいと思います。3 月 16 日、米坂線の代行バスでございますがダイヤの変更があるということで話をお聞きしてございます。2 月 20 日現在の資料ということでこれがまもなくアナウンスされるわけではございますが、大きく変わったところとしましては、下り便でございますがこの 15 便が午後でございますが、ここはこれまでよりも運航時間が少し変わったことによりまして、フラワー長井線と接続が良くなり、待ち時間が短くなったということだそうでございます。また上りにつきましても同じでございますが、こちらについても第 10 便と第 14 便が大きく見直しをしていただきまして、これによりまして先ほども申し上げましたが、フラワー長井線との接続が良くなったということでのダイヤ改正が行われたという資料でございました。

続きまして山形バス株式会社様からいただいた添付資料でございます。都市観光バスということでや山形と新潟を結ぶバスが飯豊町のめざみの里観光物産館にバスの停留所があるわけではございますが、そちらについて 2023 年 4 月から、直近の利用状況について資料を提供いただきました。この中で 8 時に山形を出発するバスにつきましては、山形から飯豊間で、月平均ではございますが、2.9 人の方の利用があるというところでございます。また、飯豊町から最終の万代バスセンターの方までが、月平均 6 人ぐらいの利用があるということで、こちらについてもこういった需要があるということが読み取れるかと思っております。同じく今度は新潟から山形に向かうバスでございますが、こちらについても万代バスセンターから飯豊町に行っている方については月平均 66.8 人いらっしゃるということで、また新潟駅から飯豊町までは 19 人と、とても大きな数字であることが読み取れるのかなというふうに思っております。潜在的にこういった需要のあるというところが読み取る資料として今回提供されたものでございます。以上でございます。

[高橋会長]

その他につきまして、代行バスの利用状況それから山形新潟線の利用状況についてご説明がありました。こちらの方につきましては皆様への参考資料ということでご提供させていただいているところがございまして、質疑なしというような形で進めさせていただきたいと思っております。

それでは長時間にわたる協議が終了いたしました。これにて皆様からいろいろご意見をいただいたことを踏まえながら、今後の改正等につきまして進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。それでは座長の場を降りさせていただき、マイクの方を事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願ひいたします。

[後藤課長]

高橋会長様ありがとうございました。続きまして 7 番のその他の方に移らせていただきたいと思います。せっかくの機会でございますので、皆さんいろんなご意見等あればこの機会にいろんなお話を伺いたいと思っておりますが、いかがでしょうか？何か今日の質問でもよろしいですし、今後の町の運営でしたり、公共交通についていろんなご意見等ありましたらいろいろお伺いしたいと思います。いかがでしょうか？

[伊藤委員]

すいません先ほどお聞きすればよかったですけども、ごめんなさい私中津川のことばかりないんですけれども一番最初のバスで行きます皆さん、その帰りのバスって必ずお昼ころに帰って来れるもんですか。

[高橋室長]

3ページをご覧いただきたいと思います。朝一番8時15分に中津川を出発しますと、今度は町外エリアからは12時半に公立置賜総合病院を出発しますので、これによって帰ってこれるようになるかと思えます。この間十分な診療時間はあるものと思っておるところでございますが、まずこれまでは出発の時間がだいぶ早かったということで、待ち時間が多かったとかそういったお声をいただいておりますので、この辺りを大きく見直しをさせていただいて、12時半、それで間に合わなければ最終的には4時ということで来てるところでございますが、この辺りについてはやはり利用状況など分析をしながら、課題の解決などについても今後の検討課題とは思っておりますので、よろしくお願いするところでございます。

[後藤課長]

他に何かいかがでしょうか？それではないようですので

[佐原委員]

すいませんこの会議は年間どのぐらい予定してるんですか。年に数回、この時期で終わりとか、そんな見通しはありますか。

[高橋室長]

今回でございますが、まずは今お話がございましたほほえみカーの料金の改定それからダイヤの改定、発着ポイントの改定ということがターゲットでございましたので、また今回でございますが、この他飯豊町と地域の公共交通を巡る状況がたくさんございまして、これからそれ以外の運行システムですとか交通手段との連携が必要となつてまいりますので、令和6年につきましても、あと2回ほどを考えたいと思っておりますが、まずは資料の整理をして、また皆様にご協力をお願いするということで考えております。

[後藤課長]

よろしくお願いいたします。他にございませんでしょうか？よろしいでしょうか？それでは、これをもちまして本日の飯豊町公共交通会議の方閉会したいと思います。皆様には様々なご意見等いただきましてありがとうございます。今後またいろいろ皆さんの方にご意見等をいただくことになるかと思っておりますが、よろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

(閉会)